

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



# 日造協ニュース

2019.11月 通巻 第548号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行: 一般社団法人日本造園建設業協会 編集: 広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

## 本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】 誰一人取り残さないゆとり  
 (公社)日本造園学会理事 名古屋大学大学院環境学研究科教授 夏原由博
- 2・3面 日造協主催 第14回 全国造園フェスティバルを開催  
 日造協会員が全国でさまざまなイベントを実施
- 4面 【ふるさと自慢】奈良県支部 窪田洋 (株)ガーデンヤマト  
 1300年前の息吹を感じる たくさんの木々 東大寺、正倉院  
 【緑滴】年末の楽しみ♪  
 山口県支部 吹上笑美 (株)多々良造園

## 「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会

### 国土交通大臣表彰など会員が各賞を受賞



全国大会で挨拶する有路信（一社）日本公園緑地協会会長

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会は10月25日、東京都港区虎ノ門の日本消防会館で開催された。

午前中の事例発表会に続き、午後からは大会は冒頭、主催者の有路信（一社）日本公園緑地協会会長が豪雨災害へのお見舞いの後、「巨大化する台風などへの備えからも、公園緑地の持つ防災・減災が重要になっている。地方財政は多難を極めているが、積極的にこれらへの対応を推し進めていかなければならぬ。午前中の事例発表やこれから鈴木大地スポーツ庁長官によるご講演、都市公園コンクール・国土交通大臣賞受賞者、緑の都市賞・内閣総理大臣賞受賞者の報告も行われる。参加者の皆様には、多くを得て活かしていただきたい」と述べた。

次いで、青木一彦国土交通副大臣は、「公園緑地は人々に潤いや安らぎを与えるだけでなく、生物多様性や災害時の避難場所や復旧・復興の拠点となり、誰もが安心して過ごせ、歴史や自然を大事にするためにも不可欠である。本大会は都市緑化月間の中心行事であり、皆様がま

すます活躍されることを祈念している」と祝辞。その後、各賞の表彰が行われた。

日造協からの受賞は、「令和元年度都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動における都市緑化功労者国土交通大臣表彰」を水谷春海氏（64）（株）水谷造園（三重県）、佐藤保夫氏（70）伊勢造園建設（株）（熊本県）が受賞。「第35回都市公園等コンクール」では、西武造園（株）が「官民連携で西東京の公園を一括管理」（東京都西東京市）で審査委員会特別賞を受賞した。

その後、鈴木大地スポーツ庁長官が「スポーツイベントとレガシー」をテーマに講演。各賞受賞者の発表が行われた。



都市緑化功労者表彰受賞者を囲み記念撮影



花鉢の配布を行う青木一彦国土交通副大臣  
 「都市緑化キャンペーン2019」が10月21日、東京都千代田区の日比谷公園特設ステージで行われた。

今年のキャンペーンは、「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、日造協をはじめ、緑化関連の17団体で構成される都市緑化推進運動協力会の主催、国土交通省、東京都、千代田区、全国知事会・市長会・町村会の後援で開催。

当日は、来年の春から秋まで開催される第37回全国都市緑化ひろしまフェアの紹介の後、青木一彦国土交通副大臣、有路信都市緑化推進運動協力会長らが来場者に花鉢を配布した。

## 秋の叙勲・褒章4氏受章

2019秋の叙勲・褒章受章者が発表され、日造協関係では、4氏が受章の栄に輝いた。

【旭日双光章】岸省三（72）元（株）岸グリーンサービス代表取締役（石川県）、木上正貢（78）元木上梅香園（株）社長・日造協副会長（熊本県）

【瑞宝単光章】寺本正保（60）岩間造園（株）取締役事業部長（愛知県）

【黄綬褒章】別府壽信氏（63）（株）別府梢園社長（福岡県）



岸省三 氏



木上正貢 氏



寺本正保 氏



別府壽信 氏

## 樹林

（一社）日本造園建設業協会 理事  
 花農造園（株）代表取締役社長 山田拓広



### 国際園芸博覧会への期待

9月9日に北京で開催された国際園芸家協会（AIPH）年次総会において、横浜国際園芸博覧会の2027年開催が承認された。今後、BIEの手続きなどを経て、正式にA1クラスの国際園芸博覧会として位置づけられる。

日本での園芸博覧会はこれまで、1990年の国際花と緑の博覧会（大阪）、2000年の国際園芸・造園博覧会（兵庫）、2004年国際園芸博覧会（静岡）が開催してきた。A1クラスの開催は1990年の大阪以来となる。

◆  
 日本における博覧会の開催は、大阪や沖縄、筑波をはじめ一般博・特別博を含め、都市開発とともに緑化にも多大な貢献を果たしてきた。会場はレガシーとして公園や緑地として財産として残される。

造園分野においての知識、技術の進化に貢献し、個々で進められてきた技術革新の努力が、発表掲示の機会を得て一般化され、次の段階へ進んでいく契機となってきたのではないだろうか。

◆  
 特に1990年の大阪花博は自然との共生をテーマに2000万人の入場者を集め、参加する市民に花や緑とともにある生活が潤いある快適なものであることが伝えられた。循環型社会、低炭素社会とともに持続可能な社会を実現していく上で、重要な役割を果たしたのではないだろうか。

そして1997年に開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）を契機に、都市における屋上や壁面も含めた緑化など、地球温暖化

防止のための具体的な取り組みが推進されてきた。愛知万博でのバイオランゲの取り組みもその一つであった。人工地盤上、屋上・壁面などの緑化技術も急速に発展してきた。

◆  
 今日、日本に於ける夏の猛暑、台風等の被害は記録的なものとなっている。一因としてあげられているのは、やはり地球温暖化現象の影響である。

温暖化防止に向けた取り組みが唱えられて久しいが、防災対策とともに、改めてそれら課題の認識、取り組みが必要なのかもしれない。

2025年の大阪万博、そして2027年の横浜国際園芸博の開催、それらに向けたこれから各地での緑化フェアなどが、市民一人ひとりが改めて取り組む重要な契機となるのではないだろうか。

◆  
 近年ではAIPHでも緑を活かした都市づくりを進めるグリーンシティ活動に力を入れてきている。シンポジウムの開催をはじめ、各国での先進的取り組み事例が紹介され、それらが持ち帰って各国の施策に役立てられている。

日造協も日本での事例を紹介するとともに、情報の収集と発信に努めている。これからも総会はじめ各会議への参加をとおして、関係各機関と連携して横浜国際園芸博覧会の円滑な開催実現に向け、また地球温暖化防止に向けて、日本がOne Teamとなって取り組めるよう努めていきたい。

## 令和2年度公園・緑地に関する予算等に要望

日造協は、令和2年度公園・緑地に関する予算等の要望について10月31日、自由民主党都市公園緑地対策特別委員会・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議において行った。

当日は、日造協の和田新也会長、（一社）日本造園組合連合会荻原博行理事長、（一社）日本公園施設業協会内田裕郎会長がともども出席した。

会議では、3団体を代表して、和田会長から令和2年度公園・緑地に関する予算等の要望を行い、田丸副会長が3団体の要望内容を具体的に説明した。

一、都市公園等関係予算の確保・拡大  
 二、持続可能で魅力あるまちづくりに資する公園緑地によるグリーンインフラの整備促進やPark-PFI等を活用した官民連携による都市公園の整備



3団体を代表して要望を行う和田新也会長

促進

三、都市公園のストック再編、安全・安心対策、長寿命化対策の支援の推進  
 四、東日本大震災復興事業予算及び熊本地震復興関係予算の確保

五、緑・花・庭を通じた国際交流関係予算の確保・拡大  
 六、造園工事の適正な発注等

七、緑地育成工事の認識の徹底、活用促進

## 2020新年造園人の集い 2020年1月6日(月)17:50より

品川プリンスホテルアネックスタワー5階「プリンスホール」(東京都港区高輪4-10-30 ☎03-3440-1111)

皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください

# 第14回 全国造園フェスティバル

## 日造協会員が全国でさまざまなイベントを実施

「花と緑で美しい日本を！」をテーマに公園や広場で、造園の素晴らしさ、造園技術などを広く知っていただこうと毎年開催している「全国造園フェスティバル」について、今年度実施した中から、その一部を紹介します。

青森

### 日造協の存在を知っていただく好機に

青森県支部は、8月31日（土）に造園フェスティバルを開催いたしました。

場所は、青森県平川市の「ひらかわフェスタ2019」に合わせての開催で、イベント催事が開催されている一画を使用させていただきました。

当日は、開会セレモニーの後小学生などによるアトラクションやご当地アイドルによるライブ＆トークショー、チャリティ輪投げ、健康食の試食などがあり大変にぎわっていました。

青森県支部としては、観葉植物の無料配布や本部より支給の花種子・チラシを配布し、今回は8月開催で気温が高かったため、花苗ではなく観葉植物を配布したところ、大変好評でした。

また、パネルの展示コーナーでは、日造協の紹介、造園の仕事や役割について

の説明・案内をしたところ、興味深く聞いてもらいました。

今回は、初めて平川市で開催ということもあり、「日造協」という団体があることを知らなかったという人が多く、今回の開催で青森県支部会員名を含めて多くの人に広報できたことは大きな収穫だったと思います。

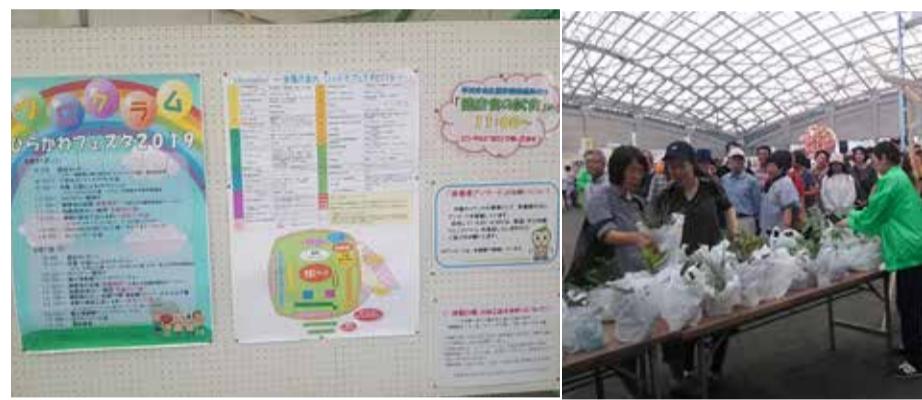
課題としては、これからは次世代の子どもたちにも、花や緑、造園に関して興味を持ってもらうためにイベントを考えいかなければと思います。

次回は開催地を変更して、更に多くの人々に「造園フェスティバル」を通して、造園建設業界の現状や仕事・役割を広報していきたいと思います。

青森県支部 三浦綾子



日造協の紹介パネル



当日のプログラム④、さまざまな観葉植物の配布④

東京

### 我が家のグリーンインフラ

毎年、東京都支部の「造園フェスティバル」では、日比谷公園で「球根のつかみ取り」を開催しています。今年は10月20日（日）、11時と14時の2回行いました。

来場者のみなさんに造園関心度アンケートを回答していただき、くじを引いてもらいます。



球根のつかみ取りのようす

このくじ引きで、球根が入っている箱の穴が決まります。大中小の穴に手を入れて球根をつかみ取るのですが、くじ運悪く小さい穴を引いた人は、箱の中でたくさんの中の球根をつかむことができても、手が抜けず球根が零れ落ちてしまします。

来場者のみなさんは、イベントが始ま

る前の整列時では、無言の衆で恐怖さえ感じます。いざ、くじ引きから球根つかみ取りをすると会話が生まれ、笑顔になります。「あー、こんなに取れたー」とか「せっかくつかんだのに落ちちゃったあ」とか「いくつ取れた?」とか話しながらイベントを後になります。

私たちは、毎年このように来場者のみなさんの背中を見送ります。家に持ち帰り、庭やベランダのプランターに植えて、来春の開花を待ち遠しく待つのでしょうか。

こんなささやかなイベントですが、来春に花を咲かせると庭やベランダの景観が変わります。そこに会話が生まれ、笑顔になり癒されます。小さな造園ですが、立派な「我が家のグリーンインフラ」です。

東京都支部では、来年もこの小さなきっかけを大切に、イベントを続けていきます。

東京都支部 事業委員長  
関根 武（内山緑地建設株）



子どもたちにも人気

学会の目・眼・芽 第102回

### 誰一人取り残さないゆとり

（公社）日本造園学会理事 名古屋大学大学院環境学研究科教授 夏原 由博

相次ぐ台風の被害に遭われた方々に  
お見舞い申し上げます。

残念なのは、逃げ遅れて亡くなられた方がおられることで、その多くは高齢の方でした。

世界中で取り組まれている持続可能な開発目標SDGsでは、「誰一人として取り残さない」ことを掲げている。

科学技術の発展は豊かな生活を実現した。その反面で、技術への過信が生じている。しかし、私たちは長い歴史の中で、自然と闘うのではなく、共生するすべてを学んできた。

桂離宮は建築美で知られているが、

高床にしたのは、桂川の氾濫への対応という実用的な設計であった。

しなやかな竹でつくられた桂垣は、洪水は通すが、流木などは通さない機能を持っているという。板垣ならば水の力で倒されるだろう。

同じ仕組みが現在にも生かされている。ラグビーワールドカップの会場となった横浜市の日産スタジアムは、鶴見川の遊水地機能を持った新横浜公園（貯水量390万m<sup>3</sup>）にある。そのため、スタジアムは地上より12m上にフィールドのある高床式につくられている。

利根川の支流、渡良瀬川にある渡良瀬

遊水地は足尾鉱毒事件の負の遺産でもあるが、台風19号の洪水に対して1.6億m<sup>3</sup>の水を貯留して首都圏の洪水被害防止に貢献したという。

渡良瀬遊水地は、生物多様性や地域文化にも大きな貢献を果たしており、渡り鳥の飛来地としてラムサール条約湿地に登録され、37種もの絶滅危惧種が生育している。

自然災害へのこうした対応は、グリーンインフラストラクチャーの先駆けともいえる。しかし、普段は土地の無駄遣いともとられてしまいがちだ。

京都府南部にあった巨椋池もかつては天然記念物に指定され、アユモドキ類やオグラノフサモなど貴重な水生生物が生育していたが、農地拡大のため

の干拓によって失われた。

グリーンインフラの仕組みはゆとりなしには考えられない。

ゆとりは自然災害への対応だけでなく、街づくりのあらゆる場面で必要だろう。

30年ほど前に買った本に、面白い対比が書かれていた。その本の著者は、ある都市の道路には、「自動車はきゅうには止まらない。ボルトといのちとどちらがだいじか」と書かれた看板が置かれていたのに対し、京都では、「子供たちがあそびますよ、曲り角」と書かれていたのを見たという。

めざす街の姿の違いを象徴している。人も生き物も誰一人取り残さないゆとりある地域づくりをめざしたい。

新潟

## バラで有名な公園でバラの資材も格安販売

温帯低気圧となった台風十八号が通過した秋晴れの中、新潟県の国営越後丘陵公園において全国造園フェスティバルを開催しました。

この公園での開催は今回を含め4回目になります。勝手知ったる我が家という感じで例年の企画に加えて自動芝刈機の実演を企画しましたが、前述の台風の影響で実施を断念しました。

しかしながら毎年好評の無料配布の新潟県産チューリップ球根のつかみ取りは大人気で、啓発グッズのパンフレットと種子絵袋を同梱した袋に球根を入れて配布しました。

十人にひとり位は、「何をしている方

なのか?」と質問があるので、テント脇に設置したパネルを利用して簡単な説明を行いましたが、球根の方に興味があるご様子なので、効果の程は定かではありません。造園工事業者の団体であることは理解していただけたと思っております。

その他の企画として地場産青果物の即売コーナーも大人気です。今はやりのブドウであるシャインマスカットや、梨、ミニトマトなど市価よりも随分安い価格で提供しました。一日限りの企画ゆえ売れ残りがあってはならないと幹事全員気合をいれて完売しました。

当公園はバラの展示が有名でアウト



会場のようす

レット園芸資材と称してバラ用の肥料、鉢なども格安で販売しました。一部のバラ愛好家の方々にも毎年楽しみに待っておられ一年ぶりの再会の中で言葉を交わす機会が得られるこども開催の喜びとなっています。

例年、屋外のイベントにとって天候に左右されるので来年以降は、開催日を複数申請し、雨天中止ではなく雨天順延という手続きにしたいと思います。せっかくの機会ですので、より大勢の方々に来園して頂き緑の大切さをPRをしていきたいと思っております。

新潟県支部 丸山晶己 (北越農事(株))



バラの展示に合わせバラ用の資材も販売



スタッフで記念撮影

が手渡すと皆様うれしそうに「ありがとうございます。帰って植えてみます。」と、喜んでいただけた方や植え方や時期が解らず「緑の相談窓口」に聞きに来る人などもいて大変賑わいました。

「カバの餌やり券」は子どもたちに人気で餌やり体験を目的に来た方たちで飛ぶようになってしまいました。

ただ、今年は日程的に周辺地域のお祭りや運動会などと重なってしまったため、例年よりは動物園に団体のお客様等が少なかったので、地域のイベントなどを考慮し、新しい取り組みを考えいくことが来年以降の課題だと感じました。

愛媛県支部 柴口 純一 (株)新開発



会場のようす

## 第14回全国造園フェスティバル開催地一覧

No.	都道府県	開催日	開催会場
1	北海道	8/3	国営滝野すずらん公園
2	青森県	8/31	ひらかわドーム
3	岩手県	5/25-26	江刺緑化センター
4	宮城県	10/19	国営みちのく杜の湖畔公園
5	秋田県	9/7-8	アゴラ広場
6	山形県	10/16	東大坊児童公園
7	福島県	10/20	21世紀の森
8	栃木県	10/12	宇都宮城址公園
9	群馬県	10/26	群馬県立金山公園
10	埼玉県	11/14	埼玉県庁
11	埼玉県	11/10	所沢航空記念公園
12	埼玉県	2/28	県営大宮第二公園
13	千葉県	9/28	東松戸中央公園
14	千葉県	10/19-20	天沼弁天池公園
15	千葉県	10/14	千葉県立幕張海浜公園Bブロック
16	千葉県	10/5	千葉県立行田公園
17	東京都	10/20	都立戸山公園
18	東京都	10/26	堀切菖蒲園
19	東京都	10/19	東京都立猿江恩賜公園
20	東京都	10/12	東京臨海広域防災公園
21	東京都	10/19-20	日比谷公園
22	東京都	6/1-2	世田谷公園
23	東京都	6/8-9	東久留米市役所
24	東京都	11/2	桃井原っぱ公園
25	東京都	11/2-3	東京都立代々木公園B地区
26	神奈川県	10/20	神奈川県立相模原公園
27	山梨県	9/27	甲府駅前広場
28	山梨県	10/19-20	小瀬スポーツ公園
29	長野県	10/14	松本平広域公園総合球技場サンプロアルウェン
30	新潟県	10/5	国営越後丘陵公園
31	富山県	10/30	富山県民会館
32	石川県	9/28	犀川緑地
33	石川県	9/23	西部緑地公園
34	石川県	10/14	奥卯辰山健民公園
35	岐阜県	11/3	岐阜メモリアルセンター
36	静岡県	10/19-20	アクト通り 及び 東ふれあい公園
37	愛知県	10/13	名城公園 tonarino
38	三重県	11/9	三重県北勢中央公園
39	福井県	10/8-11	福井市市民ホール・福井市中央公園
40	滋賀県	10/19-20	大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチ周辺
41	滋賀県	10/27	荒神山公園
42	京都府	10/22	京都市動物園
43	大阪府	11/24	福島区役所
44	兵庫県	11/3	神戸市立相楽園
45	奈良県	10/20	大和郡山市総合公園
46	和歌山県	10/14	和歌山マリーナティイコラストリート
47	岡山県	10/26	西大寺緑花公園
48	広島県	10/22	広島市森林公園
49	広島県	10/13	国営備北丘陵公園
50	鳥取県	10/19-20	米子市弓ヶ浜公園
51	島根県	10/27	くにびきメッセ
52	山口県	10/20-22	海峡ゆめ広場
53	山口県	10/6	亀山公園山頂広場
54	徳島県	10/13	あすたむらんど徳島
55	香川県	10/19-20	高松市立仏生山公園
56	香川県	10/14	国営讃岐まんのう公園
57	高知県	10/12	高知市中央公園
58	高知県	10/12	高知県立池公園
59	愛媛県	10/5	愛媛県立とべ動物園
60	福岡県	10/12-14	福智山ろく花公園
61	福岡県	11/3	遠賀川河川敷「遠賀川わくわく夢フェスタ」
62	福岡県	10/20	海の中道海浜公園
63	佐賀県	10/13	玉島川河川敷「清流玉島川鮎まつり」
64	佐賀県	5/17	国営吉野ヶ里歴史公園
65	佐賀県	10/22	金立公園コスモス園
66	佐賀県	11/3	市民公園
67	長崎県	10/27-28	長崎県庁
68	熊本県	9/22	水前寺江津湖公園広木地区
69	大分県	10/28	ハーモニーランド
70	宮崎県	10/12	宮崎駅前
71	鹿児島県	10/21-22	かごしま県民交流センター
72	沖縄県	10/18-11/10	沖縄県営浦添大公園、沖縄県宮中城公園

※悪天候のため中止になった会場もあります

ふる  
奈良県  
と自慢

# 1300年前の木々 東大寺 正倉院

奈良のみどころをご紹介させていただきます。

みどころのひとつである東大寺は、教科書などにも載っている誰もが知っているお寺のひとつですし、修学旅行などで訪れたことがある方も多いことでしょう。

奈良時代に聖武天皇が日本全国にある国分寺の中心となる「總国分寺」として建立されました。

1998年に古都奈良の文化財の一部として、ユネスコより世界遺産に登録されています。

東大寺には、金剛力士像のある南大門、「奈良の大仏様」と親しまれている蘆舎那仏のいる金堂、お水取りの行われる二月堂、三月堂、聖武天皇ゆかりの品をはじ



東大寺境内石畳



二月堂参道



正倉院



奈良国立博物館



くずのこロール

良公園の中を歩いても 15分くらいです。

窪田 洋 (株)ガーデンヤマト

## 日造協 新入会員のご紹介

### 事務局の動き

[10月]

- 1(火)・広報活動部会
- 2(水)・資格制度委員会（新規制度等部会）
- 7(月)・地域リーダーズ勉強会～8
- 8(火)・日本公園施設業協会設立30周年記念祝賀会
- 16(水)・事業委員会（人材育成部会）
- 18(金)・「新たな公民連携のあり方」Park-PFIシンポジウム（東北）

- 24(木)・公園・緑地樹木管理士指導員研修会（近畿）
- 25(金)・運営会議

・ひろげよう 育てよう みどりの都市（全国大会）

- 28(月)・東北総支部・支部交流会

30(火)・安全部会

・安全部会農薬勉強会

- 31(木)・登録造園基幹技能者講習（大阪）～11/1

・都市公園緑地等整備促進議員連盟、合同会議

[11月]

- 5(火)・広報活動部会

- 6(水)・北海道総支部・支部交流会

- 7(木)・北海道開発局・環境事務所、意見交換会

・予算・税制等に関する政策懇談会

- 8(金)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験）東京～10

- 12(火)・関東・甲信総支部・支部交流会

- 13(水)・建専連全国大会

- 14(木)・「新たな公民連携のあり方」

Park-PFIシンポジウム（北海道）

- 15(金)・技能五輪全国大会～18

- 18(月)・URとの技術意見交換会

・建設キャリアアップシステム能力評価基準打ち合わせ

・事業委員会（事業企画部会）

・資格制度委員会（新規制度等部会）

- 21(木)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験）大阪～22

22(金)・北陸地方整備局との意見交換会

・北陸総支部・支部交流会

25(月)・都市の緑三賞表彰式

26(火)・中部総支部・支部交流会

・緑・公園関係団体協議会

27(水)・近畿地方整備局との意見交換会

・近畿総支部・支部交流会

28(木)・地域リーダーズオンライン会議

29(金)・四国総支部・支部交流会

### 委員会等の活動

#### ●広報活動部会

10/1 日造協ニュース10～1月号の内容等について審議

#### ●新規制度等部会

10/2 (仮称)公園・緑地樹木管理士制度について検討

#### ●人材育成部会

10/16 経営研修会企画や造園施工管理技術検定受験対策講習会等について検討

#### ●(仮称)公園・緑地樹木管理士指導員研修会

10/24-25 公園・緑地樹木管理士指導員研修会を養成するため、指導員研修会を大阪で実施

#### ●要望・提言活動部会 グリーンインフラ勉強会

10/28 国が取り組みを進めるグリーンインフラについて、今後の動きや造園業界の事業とするため五十嵐康之国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長にご講演いただけます

#### ●安全部会

10/30 墜落制止用器具の開発や安全のしおりについて検討

#### ●安全部会 農薬勉強会

10/30 農薬の基礎知識と現状について学ぶ

編集後記 台風大雨関連被害お見舞い申し上げます。緑化月間も全体では何とか切り抜けられたようですが、復旧復興に携わる方々にはもうひと踏ん張りしていただきなればなりません。せめて会員皆様と共に心の応援致します。

## 年末の楽しみ♪

「もうい～くつ寝～る～と～お正月～♪」お正月と言えば、門松や注連縄ですよね。みなさんは今年も制作・設置に大忙したことでしょう。



門松づくりや自作の水引

は子。不器用ながら、それなりの形を造っています。設計図がなく、来年の干支の形をどう作るかを考えている時も楽しんでいます。

そして、注連縄づくりでは正月に飾られている注連縄の種類の多さに驚きます。次は鶴や亀の形をした注連縄を作りたいです。

仕事の延長線上ではありますが、自分がやって楽しいことで周りの人も楽しめる、喜んで貰えることになるって、とても嬉しいです。

日本文化に接することが多い造園業を通して、他にも伝えることを発見して子供たちが楽しく学べる機会を増やしていきたいと思っています。

### 事務局の動き

[10月]

- 1(火)・広報活動部会

- 2(水)・資格制度委員会（新規制度等部会）

- 7(月)・地域リーダーズ勉強会～8

- 8(火)・日本公園施設業協会設立30周年記念祝賀会

- 16(水)・事業委員会（人材育成部会）

- 18(金)・「新たな公民連携のあり方」Park-PFI

シンポジウム（東北）

- 24(木)・公園・緑地樹木管理士指導員研修会（近畿）

- 25(金)・運営会議

・ひろげよう 育てよう みどりの都市（全国大会）

- 28(月)・東北総支部・支部交流会

- 30(火)・安全部会

・安全部会農薬勉強会

- 31(木)・登録造園基幹技能者講習（大阪）～11/1

・都市公園緑地等整備促進議員連盟、合同会議

[11月]

- 5(火)・広報活動部会

- 6(水)・北海道総支部・支部交流会

- 7(木)・北海道開発局・環境事務所、意見交換会

・予算・税制等に関する政策懇談会

- 8(金)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験）東京～10

- 12(火)・関東・甲信総支部・支部交流会

- 13(水)・建専連全国大会

- 14(木)・「新たな公民連携のあり方」

Park-PFIシンポジウム（北海道）

- 15(金)・技能五輪全国大会～18

- 18(月)・URとの技術意見交換会

・建設キャリアアップシステム能力評価基準打ち合わせ

・事業委員会（事業企画部会）

・資格制度委員会（新規制度等部会）

- 21(木)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験）大阪～22

・都市公園緑地等整備促進議員連盟、合同会議

[12月]

- 1(火)・広報活動部会

- 2(水)・中部総支部・支部交流会

- 3(木)・近畿地方整備局との意見交換会

・近畿総支部・支部交流会

- 27(水)・地域リーダーズオンライン会議

・近畿総支部・支部交流会

- 28(木)・地域リーダーズオンライン会議

・近畿総支部・支部交流会

- 29(金)・四国総支部・支部交流会

・四国総支部・支部交流会

- 30(土)・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

- 31(日)・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

- 32(月)・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

- 33(火)・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

- 34(水)・秋の緑地樹木管理士指導員研修会

・秋の緑地